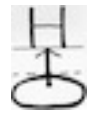


# さくら通信



Hoju  
Group  
宝樹会

No.12

2019

宝樹会によるウィーン発の浄土真宗会報誌

道を求めるころ (9)

道を求める心とは (1)

岡本英夫

さて、雪山童子の求道を文章を追ってみると、以上のようなことですが、要するに、この物語が言わんとする最大のポイントは何なのか。細かなところはそれとして、この物語が示す最大の教えは何か。それは、後の半偈はどのようにして聞くことができるかということではないかと思います。偈の全体が前半と後半に分かれている。私たちが聞くべき教えは、ある意味で前半と後半に分かれているということでしょう。そしてそれぞれの半偈はどのようにして聞くことができるか。そこに大事な点があるようです。

前の半偈は童子が坐っていたところに、羅刹の方から説かれ、それが耳に入り聞こえてきた。すなわち因縁恵まれてすばらしい言葉を耳にすることができたわけです。勿論童子はただ坐っていたのではなく真実を求めていた。だからこそ耳に入ってきたわけですが、この場合、教えは、どちらかといえば、因縁恵まれて自然に自分の耳に入ってきたわけです。このような聞き方、これが前の半偈の聞き方ですね。恵まれて教えを聞くということです。

後の半偈の聞き方は随分違います。童子は立ち上がる。そして辺りを探す。しかしそこには羅刹しかいない。まさかこの羅刹があのような素晴らしい教えを説くはずがないと思うわけです。その醜悪な外形がそう確信させるわけですね。しかし、一旦はそう思うのですが、もう一



## 木のもとのお話(12) 阿弥陀の本願

阿弥陀仏はお釈迦様のお教えによって説かれた真実の力の象徴です。阿弥陀はお釈迦様という人間を意味しているのではありません。阿弥陀の本願を説くのがお釈迦様です。

本願は阿弥陀仏の誓いです。全ての生きとし生けるものを差別や条件なく救うという誓いです。この阿弥陀仏の誓いがあることに目覚め、それを全ての人に伝えていこうとした人がお釈迦様なのです。

度考え直します。ここは大変な場面だと思えますね。

私たちはそれぞれ現実の問題を抱えています。その問題にどう対処するか、どう取り組んでいけばいいのかをずっと考えているわけです。なかなか道が見つからない。問題を軽くみてみたり、突き放してみたり、避けたいと思ってみたりしている。しかしそうではなくて、その問題こそ私自身が歩いていく場なのだ。それを避けて快適な歩みをするのが人生ではないのだ。何か別の世界をと思っているのは、思いだけ。何ら起こりえない夢なのだというわけですね。

実際は次から次へと問題が起こってきて、そこを歩いていくわけです。決して立派になんか歩いていけない。立派でなくていいんですよ。その問題のところを、これがまさしく自分が歩む場だと受けとめて、真摯に、なりふり構わず取り組んでいけばいいわけです。

そのようにして、初めは逃げていた自分の現実だにだんだんと取り組むことができるようになっていく。それには大変な力が必要であり、それを獲得するために時間もかかるわけです。童子の前に立つ羅刹、それは私の前に立つ羅刹、すなわち私の「現実」が、実は私自身に大変な教を説いてくれるものであったのだということです。

このように我が現実の中から教を聞いていくことができるというのが後の半偈です。そこには、「立ち上がって」ということで象徴的に表されているように、自己自身の問題に取り組む積極的な姿勢によって、初めて後の半偈を聞くことができるということが示されている。このようなメッセージが出されている物語ではないかと思えます。

(続く)

### 「道を求める心」これまでの重要点箇条書き

- \* 雪山童子.....お釈迦様の高いお徳を讃える方法として、生まれる前はこのようなお方であったであろうと表現する文学手法。
- \* 羅刹.....天人である帝釈天が、雪山童子を試すため姿を変えた恐ろしい形相の醜い鬼
- \* 天人.....仏教が生まれる遥か何千年も前からのインドの思想、土着の考えの中に存在。仏教は、それに、仏教を守る守護神、仏教を守護する役目を担わせて、自らの考え方の中に取り入る。
- \* 偈.....うた
- \* 前の半偈.....諸行無常 是生滅法
- \* 後の半偈.....生滅滅已 寂滅為楽 雪山童子はこの半偈を聞くため、自分の身を羅刹に捧げる約束をする。
- \* 無常菩提.....最高の悟り。身を投げた雪山童子は、帝釈天にその身を受け止められる。そして、諸天人は、あなたは将来無常菩提を成就する人となるでしょう、その時は、私たちにその教を説いてほしい、と願う。
- \* 悟り.....真実とは何であるかを明らかにすること。お釈迦様は、真実とは一切衆生を救う大慈悲であると明らかにした。

